

科目名 (科目番号)	運動器障害基礎 理学療法学Ⅱ (062121)	教員	福山 勝彦・他	学科等	理学療法	必修	履修年次	2
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				オフィスアワー		福山研究室		
授業概要	運動器障害の理学療法で扱う対象疾患の概要を学習する。また、理学療法を行う上での考え方、進め方、リスク管理について理解する。加えて、運動器障害で扱う物理療法や義肢装具、杖を含む移動補助具等の基礎的な知識を理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標					
	1	ガイダンス、整形外科疾患に対する理学療法	到達目標:運動器疾患の一般的な治療、理学療法の考え方を理解する。 学習内容:運動器障害に対する理学療法の考え方、進め方について理解する。					
	2	運動器障害の対象疾患	到達目標:代表疾患の一般的な症状について理解する。 学習内容:理学療法で扱う代表的な運動器疾患について学習する。					
	3	運動器障害に対するリスク管理	到達目標:全身状態の管理、疾患自体に対する管理について理解する。 学習内容:運動器障害を診る上でのリスク管理について理解する。					
	4	運動器障害に対する情報収集	到達目標:問診で確認すること、カルテや検査データで確認することを理解する。 学習内容:運動器障害を診る上で必要な情報収集の仕方について理解する。					
	5	物理療法	到達目標:物理療法の種類と効果について理解する。 学習内容:運動器疾患に用いる物理療法について学習する。					
	6	義肢装具	到達目標:切断の原因、義肢の構造、義肢の種類について理解する。 学習内容:切断と義肢について学習する。					
	7	義肢装具	到達目標:装具の構造、目的、種類について理解する。 学習内容:装具について学習する。					
	8	移動補助具	到達目標:自助具、杖、車いす等の種類と適応について理解する。 学習内容:自助具、杖、車いす等について学習する。					
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
15								
成績評価の方法・基準	課題(レポート)、試験で総合的に評価します(試験80%、課題20%)。							
教科書	指定なし、随時、資料を配付します。							
参考図書								
教員からのメッセージ	授業の進捗状況によって内容を変更します。レポートのフィードバックに関しては、提出後授業の中で解説します。							